

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）

分担研究報告書

「在宅療養中の高齢者に対する摂食嚥下障害評価法ならびに摂食嚥下状態の実態と
そのアウトカムのシステマティックレビューに関する研究」

研究代表者 榎 裕美 愛知淑徳大学健康医療科学部 教授

研究協力者 馬嶋 真子 愛知淑徳大学健康医療科学部 助手

研究要旨

地域療養中の高齢者の摂食嚥下障害の評価法および摂食嚥下障害の実態とそのアウトカムを明らかにする目的で、システマティックレビューを行った。CQ「在宅療養中の高齢者に対する摂食嚥下障害評価法ならびに摂食嚥下状態の実態とアウトカム」を設定し、其れに即したキーワードを設定し、Pubmed、医中誌 web、Cochran Library のデータベースを用い、検索期間：2000～2017 年（検索日まで）で検索を実施した。検索の結果、合計 275 件がヒットした。この抽出された論文のタイトルと抄録内容を検討し CQ に関連すると思われる論文の一次スクリーニングを実施し、合計 64 編を二次スクリーニング対象論文とした。

A. 研究目的

高齢者の低栄養は、重篤な基礎疾患の他にも加齢を含む身体的要因、社会的要因および心理的要因など多くの要因が絡み合って起こる。デイケアを利用する要介護高齢者の栄養状態と要介護度との関連を検討した研究では、居宅高齢者は、日常の要介護度が軽いにもかかわらず栄養障害のリスクがある者が多く認められ、栄養状態が悪化しているも見過ごされている可能性を示している。この背景として、高齢者の体重減少は緩やかに進行することから、無意識のうちに低栄養状態を引き起こすと考えられる。その要因の 1 つとして摂食・嚥下の問題がある。

要介護高齢者では摂食・嚥下障害が高頻度に認められ、経口摂取困難から ADL の低下および栄養障害を引き起こし、さらには、QOL 低下、生命予後悪化につながる。平成 24～26 年度長寿科学総合研究事業「地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究」（研究代表者・葛谷雅文）では、在宅高齢者 1142 名のコホートを構築し、嚥下機能の悪化は、栄養状態の悪化および ADL 低下と連動していることを明らかにし、適切なスクリーニングと介入システムの必要性を示した。

本分担研究では、「在宅療養中の高齢者に対する摂食嚥下障害評価法ならびに摂食嚥下状態の実態とアウトカムのシステ

マティックレビューに関する研究」を実施し、システム構築を目指すことを目的とした。

B.研究方法

【CQ】

在宅療養中の高齢者に対する摂食嚥下障害評価法ならびに摂食嚥下状態の実態とアウトカム

【キーワード】

日本語：高齢者、地域、在宅介護支援システム、在宅医療、要介護、摂食機能障害、嚥下、咀嚼、嚥下障害、摂食障害

英語：aged, elderly, older people, at home, home care service, visiting care, Deglutition Disorders, Deglutition, Masticatory Muscles, Mastication, Swallowing, Dysphagia, Esophageal Motility Disorder, Esophageal Spasm

【検索】

検索に関しては日本医学図書館協会診療ガイドラインワーキンググループに委託した。使用したデータベースは、PubMed、医中誌 Web、Cochrane Library である。

検索期間：2000～2017年（検索日まで）。

検索日：2017年10月31日（火）。

1. データベース：PubMed（表1）

検索結果：

1) メタアナリシス、システマティックレビュー、診療ガイドライン 8件

（Sheet1）

2) 臨床研究 11件（Sheet2） ※上記との重複除く

3) 疫学研究 24件（Sheet3） ※上記との重複除く

2. データベース：医中誌 Web（表2）

1) メタアナリシス、システマティックレビュー、診療ガイドライン 6件
（Sheet1）

2) ランダム化比較試験 3件
（Sheet2） ※上記との重複除く

3) その他の臨床研究、疫学研究 166件（Sheet3） ※上記との重複除く

3. データベース：Cochrane Library（表3）

1) CDSR 1件（Sheet1）
※コクランレビュー

2) CCRCT 56件（Sheet2）

4. 倫理的配慮について

本研究は論文のシステマティックレビューであり、ヒトを使用した研究ではなく、倫理審査申請はしていない。また、倫理的に問題がある研究ではない。

C. 研究結果

表1から表3の検索式から抽出された論文のタイトルならびに抄録を参照し、本CQに重要な論文か否かを選別（一次スクリーニング）し、その後、一次スクリーニングで選別された論文の論文を入手し、二次スクリーニングを実施した。Pubmed 16件、医中誌 41件、Cochran Library 7件、計4件の論文の full paper を入手し、さらにスクリーニングを実施している。スクリーニング後には、構造化抄録を作成する。

D. 考察

今回の CQ は「在宅療養中の高齢者に対する摂食嚥下障害評価法ならびに摂食嚥下状態の実態とアウトカムのシステムティックレビューに関する研究」と複数の内容が組み込まれており、最終的には、摂食嚥下障害の評価法、摂食嚥下障害の実態、摂食嚥下障害とアウトカムの3つに分割し、推奨文を作成する予定である。

E. 結論

CQ「在宅療養中の高齢者に対する摂食嚥下障害評価法ならびに摂食嚥下状態の実態とアウトカムのシステムティックレビューに関する研究」に関し、キーワードから検索式を作り文献を抽出し、一次スクリーニングを実施した。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

該当なし

表1 PubMed

CQ0 2	在宅療養中の高齢者に対する摂食嚥下障害評価法ならびに摂食嚥下状態の実態とアウトカム(PubMed)		
	検索日：2017年10月31日(火)		
No.	検索式	検索性数	
#01	"Aged"[MH]	2,726,540	
#02	(aged[TIAB] OR elderly[TIAB] OR older[TIAB]) NOT medline[SB]	105,168	
#03	"Home Care Services"[MH]	43,607	
#04	(at home*[TIAB] OR home care*[TIAB] OR visiting care*[TIAB] OR community[TIAB]) NOT medline[SB]	61,433	
#05	"Deglutition Disorders"[MH] OR "Deglutition"[MH] OR "Masticatory Muscles"[MH] OR "Mastication"[MH]	71,460	
#06	Deglutition*[TIAB] OR Swallowing*[TIAB] OR Dysphagia*[TIAB] OR Esophageal Motility Disorder*[TIAB] OR Esophageal Achalasia*[TIAB] OR Esophageal Spasm*[TIAB] OR Gastroesophageal Reflux*[TIAB] OR masticat*[TIAB]	64,949	
#07	(#1 OR #2) AND (#3 OR #4) AND (#5 OR #6)	121	
#08	#7 AND 2000:2017[DP]	107	
#09	#8 AND (JAPANESE[LA] OR ENGLISH[LA])	99	
#10	#9 AND ("Meta-Analysis"[PT] OR "meta-analysis"[TIAB])	0	
#11	#9 AND ("Cochrane Database Syst Rev"[TA] OR "systematic review"[TIAB])	5	
#12	#9 AND ("Practice Guideline"[PT] OR "Practice Guidelines as Topic"[MH] OR (guideline*[TIAB] NOT medline[SB]))	5	
#13	#11 OR #12	8	Sheet 1
#14	#9 AND ("Randomized Controlled Trial"[PT] OR "Randomized Controlled Trials as Topic"[MH] OR (random*[TIAB] NOT medline[SB]))	7	
#15	#9 AND ("Clinical Study"[PT] OR "Clinical Studies as Topic"[MH] OR ((clinical trial*[TIAB] OR random*[TIAB] OR observational stud*[TIAB]) NOT medline[SB]))	15	
#16	(#14 OR #15) NOT #13	11	Sheet 2
#17	#9 AND ("Epidemiologic Research Design"[MH] OR "Epidemiologic Studies"[MH] OR "Comparative Study"[PT] OR "Multicenter Study"[PT] OR "Evaluation Studies"[PT] OR ((cohort stud*[TIAB] OR comparative stud*[TIAB] OR multicenter stud*[TIAB] OR evaluation stud*[TIAB]) NOT medline[SB]))	30	
#18	#17 NOT (#13 OR #16)	24	Sheet 3

表2 医学中央雑誌

CQ0 2	在宅療養中の高齢者に対する摂食嚥下障害評価法ならびに摂食嚥下状態の実態とアウトカム(医学中央雑誌)		
	検索日：2017年10月31日(火)		
No.	検索式	検案件数	
#01	高齢者/TH	84,091	
#02	高齢者/TA or 高年者/TA or 老人/TA or 老年者/TA	209,612	
#03	在宅介護支援サービス/TH	39,211	
#04	在宅療養/TA or 在宅介護/TA or 在宅医療/TA or 在宅支援/TA or 要介護/TA or 地域/TA	141,492	
#05	摂食機能障害/TH or 嚥下/TH or 咀嚼筋/TH or 咀嚼/TH	62,752	
#06	嚥下障害/TA or 嚥下機能/TA or 摂食機能/TA or 咀嚼機能/TA or 嚥下困難/TA or 咀嚼障害/TA or 摂食障害/TA	32,380	
#07	(#1 or #2) and (#3 or #4) and (#5 or #6)	766	
#08	#7 and (DT=2000:2017)	734	
#09	#8 and (メタアナリシス/TH or システマティックレビュー/TH or 診療ガイドライン/TH)	6	
#10	#8 and (RD=メタアナリシス,診療ガイドライン)	0	
#11	#8 and (メタアナリシス/TA or システマティックレビュー/TA or 診療ガイドライン/TA)	1	
#12	#9 or #11	6	Sheet1
#13	#8 and ランダム化比較試験/TH	3	
#14	#8 and (RD=ランダム化比較試験)	3	
#15	#8 and (ランダム化比較試験/TA or 無作為化比較試験/TA)	1	
#16	(#13 or #14 or #15) not #12	3	Sheet2
#17	#8 and (疫学研究特性/TH or 疫学的研究デザイン/TH)	71	
#18	#8 and (RD=準ランダム化比較試験,比較研究)	129	
#19	#8 and (疫学研究/TA or 疫学的研究/TA or 観察研究/TA or 縦断研究/TA or 後向き研究/TA or 症例対照研究/TA or 前向き研究/TA or コホート研究/TA or 追跡研究/TA or 断面研究/TA or 介入研究/TA or 実現可能性研究/TA or 双生児研究/TA or 多施設共同研究/TA or パイロットプロジェクト/TA or 標本調査/TA or 臨床試験/TA or 第I相試験/TA or 第II相試験/TA or 第III相試験/TA or 第IV相試験/TA or クロスオーバー研究/TA)	9	
#20	(#17 or #18 or #19) not (#12 or #16)	166	Sheet3

表3 Cochrane Library

CQ02	在宅療養中の高齢者に対する摂食嚥下障害評価法ならびに摂食嚥下状態の実態とアウトカム(Cochrane Library)		
	検索日：2017年10月31日(火)		
No.	検索式	検案件数	
#01	aged:ti,ab,kw OR elderly:ti,ab,kw OR older:ti,ab,kw	417,040	
#02	"at home":ti,ab,kw OR "home care":ti,ab,kw OR "visiting care":ti,ab,kw OR community:ti,ab,kw	33,940	
#03	Deglutition*:ti,ab,kw OR Swallowing*:ti,ab,kw OR Dysphagia*:ti,ab,kw OR Esophageal Motility Disorder*:ti,ab,kw OR Esophageal Achalasia*:ti,ab,kw OR Esophageal Spasm*:ti,ab,kw OR Gastroesophageal Reflux*:ti,ab,kw OR masticat*:ti,ab,kw	7,761	
#04	#1 AND #2 AND #3	63	
#05	#4 Publication Year from 2000 to 2017	57	
#06	#5 CDSR	1	Sheet 1
#07	#5 CCRCT	56	Sheet 2